

令和6年度 新宿区立淀橋第四小学校の目指す教育



子どもの幸せ開く 未来を開く 地域の太陽 淀四小!

世界の現状

- ・グローバルizm、国際競争の激化
- ・地域基盤社会、経済不況
- ・国際テロの脅威・人権・災害
- ・五大環境問題 等

新宿区教育ビジョン

- ・生きる力をはぐくむ学校教育の実現
- ・家庭や地域とともに進める教育の実現
- ・子どもがいそいそ学ぶ教育環境の実現

国の現状・課題

- ・少子高齢化・災害の激甚化
- ・生産性の低迷
- ・情報リテラシーの格差
- ・社会的・経済的格差
- ・家庭・地域の教育力の向上 等

教育界の動向・課題

- ・学力・体力向上、豊かな心の育成
- ・学習習慣の確立・規範意識の向上
- ・持続可能な開発目標 (SDGs) の達成
- ・GIGA スクール構想・プログラミング

目指す学校像

- 楽しく、力のつく学校
楽しさが子どもの可能性を開く
授業改善で生きる力をはぐくむ
- いじめのない安全・安心の学校
人権第一・安全第一・学校事故0を目指す
- 地域や保護者とともに子どもを育てる学校
学校が拠点となり、子どもの育ちを第一に考えた教育の実現を図る

地域の様子

- ・地域協働学校として学校を支援
- ・町会・PTA・育成会が安全や防犯、環境整備に献身的に取り組まれており、卒業生も多い
- ・新旧のよさがマッチした国際性豊かな地域
- ・「淀橋」の名を冠する最後の学校

[令和3年度]開校100周年・開園50周年記念式典・行事等実施

- ☆平成25年度東京都スポーツ教育推進校
- ☆平成24・25年度新宿区研究発表校「運動の楽しさから生きる力の育成」
- ☆平成25・26年度地域協働学校準備校・教育課題研究校・学校評価モデル校

学校教育目標

人権尊重の精神をもとに、児童一人一人を生きかし、心身ともに健やかに、自主的精神に満ち、広く国際社会に貢献できる児童の育成を目指す。
そのために、以下のような児童像を掲げる。◎重点

◎助け合う子ども ◎考える子ども ◎やりぬく子ども ◎じょうぶな子

- ☆令和元年度教育課題研究「児童が、すすんで伝え合う外国語活動・外国語」
- ☆令和5・6年度教育課題研究校(幼稚園)「基礎体力の向上」

学校支援体制

- 学年サポート体制
全教職員で子どもに関わる
チームワークの堅持「チーム淀四」

教育課程編成の基本方針

課程外活動

- 放課後子ども広場
- 放課後学習支援「淀四スタディ」

学級・専科経営方針

学習指導の充実

- ・TTや少人数学習指導など複数の教員による個に応じた指導
- ・基礎的・基本的な知識・技能の習熟(漢字・音読・計算等)
- ・教育用タブレット端末等による個別最適な学びと協働的な学び
- ・家庭学習の習慣化
- ・朝読書・読み聞かせ、公共図書館との連携による読書活動の充実(学校図書館支援員・図書ボランティア等の支援)
- ・地域協働学校運営協議会、スクールコーディネーターとの連携による地域人材を生かした教育
- ・英語活動(ALT 全学年配置)の充実、クラスルームイングリッシュに基づいた授業
- ・日本語指導の充実
- ・保幼小中との交流による連携

豊かな心の育成

- ・縦割り班活動「淀四キッズ」、併設幼稚園含めた異学年交流推進の充実
- ・あいさつ運動の実施(全学年)
- ・スクールカウンセラーによる教育相談、専門家の巡回相談、特別支援体制の充実
- ・東京日本語教育センターの留学生との交流等、国際理解教育の推進
- ・音楽教育の充実(金管バンド・和太鼓等)
- ・道徳教育・いのちの教育の推進、道徳授業地区公開講座の充実
- ・新宿区手話言語条例を意識した取組
- ・デフリンピックへの理解や障害者スポーツ等の体験を通し、障害者教育を推進
- ・「ふれあい月間」「いじめは許されない、許さない」指導の徹底
- ・SNSの適切な利用(情報モラル教室、親子スマホ教室)、薬物乱用防止等、危険予知能力の育成

健康・安全・体力の向上

- ・地域防災訓練への参加(防災対策・教育の推進)、不審者訓練、起震車体験、集団下校、交通安全教室の実施
- ・体育科を中心とした授業改善及び体育朝会、マラソン・縄跳び月間、体カテスト(全学年)の実施、「スポーツギネス新宿」、コーディネーショントレーニングの実施による基礎体力の向上、
- ・栄養士による食育指導と学校保健委員会の開催
- ・PTA(自転車教室、みまもり、イベントサポート等)
- ・地域(淀四地区子どもを守る会、安全ボランティア)、関係諸機関との連携

地域の特色や教育力を生かした体験活動の充実

邦楽教室、絵手紙、環境教育(3R、みどりのカーテン、屋上芝生、ピオトープ等)、馬頭琴の実演、茶道学習、昔の道具体験、トップアスリートとの交流、和太鼓クラブ・金管バンドの地域行事への参加、キャリア教育等